



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 クボテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長(経理グループ担当) (氏名) 記虎政史

TEL 06-6443-1815

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,574	18.0	68	100.3	63	161.8	51	161.2
29年3月期第2四半期	1,334	7.8	34		24		19	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 63百万円 (60.5%) 29年3月期第2四半期 39百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	3.77	
29年3月期第2四半期	1.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	3,759	1,151	30.6	83.61
29年3月期	3,346	1,087	32.5	78.97

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,151百万円 29年3月期 1,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	24.5	220	742.6	200		170		12.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	13,830,000 株	29年3月期	13,830,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	62,159 株	29年3月期	62,159 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	13,767,841 株	29年3月期2Q	13,767,925 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
(継続企業の前提に関する重要事象等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調が続きました。液晶を始めとするフラットパネルディスプレイ（FPD）の分野におきましては、FPDメーカーの設備投資は堅調に推移しました。

このような環境の中、当社グループでは、事業構造の改革と新規事業・新製品開発の取り組みを継続し、事業基盤の強化に努めてまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,574百万円（前年同四半期比18.0%増）、営業利益68百万円（前年同四半期比100.3%増）、経常利益63百万円（前年同四半期比161.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は51百万円（前年同四半期比161.2%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上が増加しました。この結果、売上高は1,311百万円（前年同四半期比22.8%増）、セグメント利益は30百万円（前年同四半期比95.0%増）となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト「KEYCREATOR」の売上が伸び悩みましたが、収益性が改善し損益は黒字化しました。この結果、売上高は191百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント利益は28百万円（前年同四半期はセグメント損失14百万円）となりました。

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の売上が減少しました。この結果、売上高は71百万円（前年同四半期比10.1%減）、セグメント損失は6百万円（前年同四半期はセグメント利益11百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ412百万円増加しました。流動資産は現金及び預金の増加139百万円、売上債権の増加216百万円などにより、413百万円増加しました。固定資産はほぼ変動がありませんでした。

負債は、前連結会計年度末に比べ348百万円増加しました。流動負債は仕入債務の増加258百万円、短期借入金の増加197百万円などにより、499百万円増加しました。固定負債は長期借入金の減少などにより、150百万円減少しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益51百万円の計上などにより、純資産合計が63百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	971,459	1,111,203
受取手形及び売掛金	926,873	1,149,230
電子記録債権	92,576	86,819
商品及び製品	9,116	18,102
仕掛品	293,049	332,566
原材料及び貯蔵品	94,840	113,664
繰延税金資産	904	915
その他	29,584	29,649
貸倒引当金	△92,531	△103,160
流動資産合計	2,325,874	2,738,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	204,513	197,970
土地	558,514	558,514
その他(純額)	43,056	38,326
有形固定資産合計	806,084	794,811
無形固定資産		
ソフトウェア	162,405	172,898
その他	2,285	2,285
無形固定資産合計	164,690	175,183
投資その他の資産		
その他	50,049	50,573
貸倒引当金	△238	△238
投資その他の資産合計	49,811	50,335
固定資産合計	1,020,586	1,020,330
資産合計	3,346,461	3,759,321
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	445,119	703,171
短期借入金	1,055,000	1,252,000
未払法人税等	12,840	16,602
賞与引当金	15,660	16,060
その他	335,895	375,859
流動負債合計	1,864,515	2,363,694
固定負債		
長期借入金	337,000	187,000
繰延税金負債	5,048	4,734
退職給付に係る負債	49,931	50,000
その他	2,762	2,762
固定負債合計	394,742	244,497
負債合計	2,259,258	2,608,192

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△801,815	△749,891
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	1,068,216	1,120,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132	567
為替換算調整勘定	18,853	30,421
その他の包括利益累計額合計	18,986	30,988
純資産合計	1,087,203	1,151,129
負債純資産合計	3,346,461	3,759,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,334,087	1,574,369
売上原価	837,653	1,055,692
売上総利益	496,433	518,676
販売費及び一般管理費	462,197	450,098
営業利益	34,236	68,577
営業外収益		
受取利息	100	65
受取配当金	496	305
受取賃貸料	555	555
その他	69	67
営業外収益合計	1,222	993
営業外費用		
支払利息	6,845	5,997
為替差損	4,387	130
その他	-	18
営業外費用合計	11,233	6,147
経常利益	24,225	63,424
税金等調整前四半期純利益	24,225	63,424
法人税等	4,344	11,500
四半期純利益	19,881	51,924
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,881	51,924

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	19,881	51,924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,176	435
為替換算調整勘定	21,137	11,567
その他の包括利益合計	19,960	12,002
四半期包括利益	39,841	63,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,841	63,926
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	24,225	63,424
減価償却費	62,199	79,488
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,882	10,708
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,470	400
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,955	69
受取利息及び受取配当金	△596	△370
支払利息	6,845	5,997
為替差損益 (△は益)	586	271
売上債権の増減額 (△は増加)	△125,603	△218,119
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,650	△68,293
仕入債務の増減額 (△は減少)	106,214	259,020
未収消費税等の増減額 (△は増加)	20,508	3,847
未払消費税等の増減額 (△は減少)	450	333
その他	△10,249	49,091
小計	89,476	185,869
利息及び配当金の受取額	587	368
利息の支払額	△5,787	△6,129
法人税等の支払額	△9,545	△8,582
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,730	171,525
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,618	△1,461
有形固定資産の取得による支出	△9,927	△3,779
無形固定資産の取得による支出	-	△149
ソフトウェアの取得による支出	△83,899	△73,516
その他	△1,786	1,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,232	△77,289
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△236,000	263,000
長期借入金の返済による支出	△210,000	△216,000
自己株式の取得による支出	△42	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△446,042	47,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33,752	△1,494
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△502,296	139,741
現金及び現金同等物の期首残高	1,280,289	939,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	777,993	1,079,534

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	1,068,574	186,343	79,169	1,334,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34,452	15,844	22,243	72,541
計	1,103,027	202,188	101,413	1,406,629
セグメント利益又は損失(△)	15,618	△14,842	11,310	12,086

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	12,086
セグメント間取引消去	4,282
内部利益の調整額	△1,416
貸倒引当金の調整額	19,283
四半期連結損益計算書の営業利益	34,236

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	1,311,734	191,431	71,203	1,574,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79,489	11,172	25,320	115,982
計	1,391,223	202,604	96,524	1,690,352
セグメント利益又は損失(△)	30,456	28,446	△6,479	52,423

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	52,423
セグメント間取引消去	4,716
内部利益の調整額	△8,060
貸倒引当金の調整額	19,498
四半期連結損益計算書の営業利益	68,577

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社グループは、過去継続した営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上するなど、主たる事業である検査機システム事業の受注動向に依存し業績の振幅も大きく、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、当該事象等を解消するための施策に取り組んでおり、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

当該事象等を解消するための具体的な施策は、主に日本セグメントにおいて、次のとおりであります。

検査機システム事業においては、有機EL、機能性フィルム向けなど従来の液晶以外の検査機システムの開発、販売を強化し新規顧客の開拓を進め、成長が見込まれる中国市場に注力しております。

さらに、人件費や償却費などの固定費削減に注力し損益分岐点を引き下げ、損益構造の改善に努めております。

また、米国セグメントにおいては、子会社Kubotek USA, Inc.の事業体制を見直し新製品の開発と固定費の削減を含む再建計画を実行しております。

一方、新規事業として安全、低コスト、大容量の蓄電媒体としての次世代フライホイール蓄電システムや、オーディオ事業の研究開発を加速させ、早期事業化を推進してまいります。